

Table with project details including name (水田農業振興事業), period (昭和45年度 ~ 未設定), age (50歳), and various administrative and financial fields.

Table showing budget and cost breakdown by category (A-D) and year (Heisei 30, Reiwa 2, Reiwa 3, Reiwa 4).

Table detailing performance indicators (目標設定) and results (実績) with columns for target names, units, and values across different years.

評価年度の主な取組	1. 生産調整		
	(1)水田農業活性化補助金 684,129円		
	事業名称	農業振興団体	補助額
	集団転作モデル地区育成事業	船戸内転作組合	60,000円
	景観形成作物助成事業	船戸内転作組合・コスモス	400,029円
その他・なまず養殖	吉川受託協会	155,700円	
	養殖場スズキ	68,400円	
	経営所得安定対策等を実施するために景観形成作物を作付し、水田を有効活用している生産者団体を支援した。		
	(2)地域農業再生協議会補助金 460,000円		
	国の経営所得安定対策等の推進、円滑な実施や新規需要米の推進等の役割を担う地域農業再生協議会を支援した。		

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	意図については、国の施策である経営所得安定対策等への加入を促進するものであり、全国的な方向性と合致する。			
	意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	米価の安定のための対策は、生産者だけでなく行政及び農協と連携して取り組む必要があるため妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)		平成30年度	令和元年度	
		活動指標	99.87% ★★★★ 概ね達成された	① 水田農業活性化対策実施団体への補助金交付額 (増加目標指標)	99.67% ★★★★ 概ね達成された	87.82% ★★★★ 概ね達成された		
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 水田農業活性化対策実施面積 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された			
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	成果向上の余地については、生産者の経営所得安定対策等の趣旨の理解を促進し、取組を増やすことができる。上位施策への貢献度については、安定した農業経営に直結する事業であり、貢献度は高い。					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標		平成30年度	令和元年度		
		79.06% 減少している 5.99円	水田農業活性化対策実施団体への補助金交付額 活動指標を単位として換算 単位：円/円	79.42% 減少している 6.94円	109.31% 若干増加している 7.58円			
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	水田活性化補助金について既に削減を行っており、これ以上の改善は困難である。生産者に主体的に取り組んでいただく制度のため、受益者負担の考えはない。					
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	国の生産数量目標の配分が平成29年産をもって終了したため、国や埼玉県の動向と市内の状況を踏まえ、吉川市地域農業再生協議会において新たに米生産に係る取組方針を策定し、公表を行った。引き続き、経営所得安定対策に係る主体的な取り組みが必要となる。また、吉川の農業に合った施策を研究する必要がある。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	行政情報を分かりやすく提供できるよう努める。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details: 事務事業名 (吉川農産物PR事業), 所管部署名 (産業振興部 農政課 農政係), 事業期間 (平成10年度 ~ 未設定), 事業年齢 (22歳), 事業区分 (法定受託事務, 自治事務), 実施計画の位置付け (有), 対象 (吉川産農産物), 手段 (イベントの開催や啓発物の配布など).

Table with financial breakdown: 区分 (A: 事業費, B: 国庫支出金, C: 吉川市年間負担経費), 令和2年度 (予算628千円, 決算268千円), 令和3年度 (628千円), 令和4年度 (628千円).

Table with performance indicators: 指標名 (全市民, イベント参加者数), 単位 (人, 回), 実績値 (73,706, 300), 計画(見込)値 (73,514, 300).

評価年度の主な取組	1 吉川産農産物の消費拡大を図るため、吉川産農産物販売促進協議会の事業に対する補助を行うと共に、各種イベントを通じて農産物のPRを行った。			
	イベント名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	体験田植え	120人	120人	0人
	体験稲刈り	94人	81人	0人
	産直めぐり	185人	84人	0人
※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止。				
2 生産者やJAさいかつと連携し、以下のイベントへの参加等で吉川産農産物のPR活動を行った。				
期 日		会 場		内 容
令和2年9月18日～22日		埼玉フェア(イオンレイクタウン)		吉川産農産物直売及びPR活動
令和2年12月4日～6日		吉川フェア(イオンタウン吉川美南)		吉川産農産物直売及びPR活動
※吉川マルシェ及び市民まつり農業まつりは新型コロナウイルスの影響により中止。				

区 分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事 業 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	意図については、消費者にとっては安全安心な地元産の農産物を知り、手に入れる機会が増え、生産者にとっては、経営の安定に繋がることから、農業振興や地産地消の考え方からも妥当である。そのための手段として、積極的なPR活動を行うことが必要である。				
	意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	役割分担については、生産者団体、消費者団体と行政が一体となった活動が必要であるため、妥当である。				
業 効 性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① イベント参加者数 (増加目標指標)	133.00% ★★★★★ 達成された	95.00% ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	評価不可	② 吉川産農産物の購入意欲度 (増加目標指標)	97.20% ★★★★★ 概ね達成された	96.10% ★★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	イベントの実施内容や時期、PR方法などにより、成果向上の余地はある。後期基本計画に掲げる「農業経営の活性化」に直結する事業であると共に、地産地消や食育の面においても貢献度が高い事業である。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価 効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		評価不可	イベント参加者数 活動指標を単位として換算 単位：円/人	53.51% 減少している 10,812.03 円	174.67% 増加している 18,885.44 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	平成19年度に補助金の見直しを行っており、これ以上の改善は困難である。一方で、PR事業という性質上、他の様々な情報発信の手法の研究が必要である。生産者及び消費者双方にメリットがある事業であり、受益者負担の考えは馴染まない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	平成19年度に補助金の見直しを行った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	市民満足度が向上するようなイベントの取り組みを継続する。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	消費及び販路拡大に繋がるよう、生産者やJAさいかつと連携し、吉川産農産物の魅力をPR出来る手法を検討する。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	生産者と一体となったPR事業を展開することで、消費及び販路拡大を目指し、生産意欲の向上を図る。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with 4 main columns: 基 (Basic), 本 (Main), 事 (Project), 項 (Item). Includes fields for project name (後継者団体活動補助事業), period, budget, and objectives.

Table with 9 columns: 区分 (Category), 区 分 (Sub-category), 平成30年度決算(千円), 令和元年度決算(千円), 令和2年度 (Budget/Actual/Change), 令和3年度当初(千円), 令和4年度計画(千円). Rows include A (Total Costs), B (Funding Sources), C (Total Cost Difference), and D (Subsidy Type).

Table with 8 columns: 目 標 設 定 (Target Setting), 区 分 (Category), 指 標 名 (上段) (Indicator Name), 単 位 (Unit), 平成30年度 (Actual), 令和元年度 (Actual), 令和2年度 (Actual), 令和3年度 (Plan), 令和4年度 (Plan). Rows include membership and activity counts for various groups.

1 農業後継者団体の支援策として、「農業青年会議所」及び「4Hクラブ」に補助金を交付した。

2 R2年度は、上記の2団体が新たな取り組みとして以下の事業を予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりイベントは中止となった。

団体名	主な活動(予定)	うち新規事業
4Hクラブ	樹木消毒、自分だけのプランターファーム、市民まつり農業まつりの参加	自分だけのプランターファーム
農業青年会議所	吉川マルシェの参加、市民まつり農業まつりの参加	

※ 樹木消毒は2回実施。

3 コロナ禍における活動
今後の事業についても活用できる備品を購入した。

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	後継者の確保・育成を目指すため、新規就農者の増加という意図の設定は妥当であるが、他の産業と比較して急激に改善するものではないため、長期的に考える必要がある。 対象・手段については、後継者団体の活動を支援するものであり、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市の農業の維持・発展のために、後継者の育成や支援は市の責務であることから、役割分担は妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	③ 農業後継者団体の各種イベント開催数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	80.00% ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	33.33% ★★ 達成度が低い	① 農業後継者団体新規加入者 (増加目標指標)	0.00% ★ 達成度がかなり低い	133.33% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	若い農業者が団体を通じて活動を行っていくことで視野が広がり、徐々に成果が出てくるため、活動内容によっては、成果の向上が期待できる。 後期基本計画に掲げる「担い手となる農業者の確保・支援」に対する貢献度は高い。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		206.69% 増加している 226,472.73 円	吉川市4Hクラブの活動計画数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	353.35% 増加している 165,029.60 円	66.40% 減少している 109,573.08 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	市が関わることも多くあるが、農業後継者の育成・支援という観点から、団体の自主性を重視した必要最小限の支援を行っており、これ以上の改善は難しい。 また、補助金交付事業であるため、受益者負担の考えを考慮した制度設計となっている。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成19年度に補助金の見直しを行った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 農業従事者の減少により、会員数も減少傾向にある。	機会(プラス要素) 積極的な勧誘などの取り組みにより、横ばいで推移している。引き続き勧誘活動を継続し、会員数の確保に努める。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	将来に向けた取組みの方向性等について検討する必要がある。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	認定農業者育成事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農政係					
	事業期間	平成7年度	～	未設定	事業年齢	25歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重	
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市認定農業者支援事業補助金交付要綱				
		まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
		施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度				
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標2『市民の幸福実感を追求する』			予 算 科 目	会計区分	一般会計				
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	農林水産業費		農業費		
	事 目 的 的 項	対象 (誰を、何を)	中核担い手農業者 新規就農者			手 段 (どのよう な 事業を行うのか)	目 細目	農業振興費		中核担い手農家育成事業	
		対象年齢	15	99	・農業経営に意欲があり、経営を改善しようとする農業従事者を認定農業者として認定する。 ・認定農業者が農業施設の新設、補修及び農業機械の購入をする際、その費用の一部を補助する。						
意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)		認定農業者として認定を受けたものが、補助金等の支援を受けることで、経営の効率化を図り、継続して安定した農業経営ができる状態にする。									
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		50410501
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 601105			50410502		認定農業者育成事業(補助金)					

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	4,271	2,803	4,601	4,601	1,798	4,601	4,601	
	② 人件費	1,243	1,238	1,264	2,575	1,338	2,575	2,575	
		正職員投入人員	0.16人	0.16人	0.16人	0.34人	0.18人	0.34人	0.34人
		正職員人件費	1,243	1,238	1,264	2,575	1,338	2,575	2,575
	会計年度任用職員人件費					0			
③ 間接経費(加算)					0				
④ コスト対象外(除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	5,514	4,041	5,865	7,176	3,136	7,176	7,176		
資 源	⑥ 国庫支出金					0			
	国補助率								
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市債					0			
⑨ その他	750	750	750	750	0	750	750		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0				
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C 吉川市年間負担経費(A-B)	4,764	3,291	5,115	6,426	3,136	6,426	6,426		
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独						

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 全農家数	戸	789	789	789	789	789
	② 最新版の農林業センサス掲載数		789	789	595		
活 動 指 標	① 認定農業者及び認定新規就農者候補者宅への訪問 訪問回数	件	3	3	3	3	3
	② 認定農業者及び認定新規就農者新規認定数 年度内の新規認定数		1	1	6		
	③ 補助金交付件数	人	3	3	3	3	3
	認定農業者支援事業補助金の交付件数		1	4	2		
成 果 指 標	① 認定農業者及び認定新規就農者数 年度末の認定農業者数	人	28	28	28	28	28
	②		25	21	30		
成 果 指 標	① 認定農業者及び認定新規就農者数 年度末の認定農業者数	人	87	87	87	87	87
	②		86	82	79		

評価年度の主な取組	1 認定農業者支援事業補助金交付実績				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	施設及び機械	利用件数	17	12	20
		補助金額(千円)	3,752	2,384	4,201
	雇用賃金	利用件数	13	8	10
		補助金額(千円)	520	320	400
	法人化・GAP・HACCP	利用件数	0	1	0
		補助金額(千円)	0	100	0
	2 認定農業者数				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規認定		1	4	2	
離農、辞退等		1	4	5	
年度末現在認定者		86	82	79	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	農業経営基盤強化促進法において、認定農業者及び認定新規就農者の認定は市町村の役割となっている。農業経営基盤強化促進法や後期基本計画等の趣旨と合致した意図であり、その対象・手段としても認定農業者等を確保し、支援を行っていくものであり、妥当である。 市の農業の中心となる認定農業者への支援についても、市が積極的に取り組む必要があるため、役割分担は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	200.00% ★★★★★ 達成された	① 認定農業者及び認定新規就農者候補者宅への訪問 (増加目標指標)	33.33% ★★ 達成度が低い	33.33% ★★ 達成度が低い	
	成果指標	90.80% ★★★★ 概ね達成された	① 認定農業者及び認定新規就農者数 (増加目標指標)	98.85% ★★★★ 概ね達成された	94.25% ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	引き続き候補者に対するPRを行うなど、成果向上の余地がある。後期基本計画に掲げる「担い手となる農業者の確保・支援」に対する貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		355.20% 増加している 3,588,080.00 円	認定農業者及び認定新規就農者新規認定数 活動指標を単位として換算 単位：円/人	293.07% 増加している 5,513,560.00 円	18.32% 減少している 1,010,150.00 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	平成25年度に補助内容について見直しを行っているが、今後認定農業者等を増加させるためには、これ以上のコスト削減は難しい。補助内容について、受益者負担を考慮した上での制度となっている。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	認定農業者支援対策事業費補助金について、補助事業等の追加を行った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 高齢化による農業者人口の減少	機会(プラス要素) 農業の生産基盤の向上
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	農業経営のニーズに合致した支援を検討する。	

事業(一次)評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	補助制度のPRを行い、活用推進を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	農業近代化資金利子補給事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農政係		
	事業期間	昭和54年度 ~ 未設定	事業年齢	41歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市農業近代化資金利子補給規定		
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(1)農業経営の活性化			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	農林水産業費	農業費
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	農業振興費	中核担い手農家育成事業	
	目的	対象 (誰を、何を)	市内の農業者			手 段 (どのよう な 事業を行うのか)	・新規資金利子補給金の審査。 ・資金を貸し付けた融資機関に対して年1%以内の利子を給 付する。	
	対象年齢	15	99	15歳から融資機関が判断する貸付可能年齢まで				
意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	農業者が低金利で資金を利用することにより、農業用設備の 近代化が進み、農業経営が安定・向上する。							
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 後継者育成資金金利補給事業			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50410601	農業近代化資金利子補給事業	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 601106					50410401	後継者育成資金利子補給事業	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	209	170	212	112	△ 58	203	203
	② 人件費	78	155	158	76	△ 79	76	76
	正職員投入人員	0.01人	0.02人	0.02人	0.01人	△ 0.01人	0.01人	0.01人
	正職員人件費	78	155	158	76	△ 79	76	76
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	286	325	370	188	△ 137	279	279	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	286	325	370	188	△ 137	279	279
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 全農家数	戸	789	789	789	789	789
	② 最新版の農業センサス掲載数		789	789	595		
活 動 指 標	① 新規利子補給審査件数	件	2	2	2	2	2
	審査した件数		1	1	0		
	② 利子補給金額	円	222,000	175,000	212,000	212,000	212,000
	年度内の利子補給金総額		208,677	170,014	112,027		
成 果 指 標	① 利子補給制度利用借入総件数	件	18	18	18	18	18
	② 当該年度に利子補給金制度を利用した件数		17	16	16		

評価年度の主な取組	1 農業近代資金実績(令和2年度)			
		上期	下期	合計
	新規認定	0	0	0
	既存補給	16	13	29

区分		評価結果		判断理由(特記事項)			
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	対象・手段については農業者の設備投資における経済的負担の軽減を図るものであり、妥当である。農業の近代化が進むことにより、経営が安定し、担い手農家の育成につながるため意図は妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討			農業者が経営改善のために借り入れる資金の利子補給を国及び県と合わせて市が行うものである。	
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① 新規利子補給審査件数 (増加目標指標)	50.00% ★★★★ 達成度がやや低い	50.00% ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	88.89% ★★★★ 概ね達成された	① 利子補給制度利用借入総件数 (増加目標指標)	94.44% ★★★★ 概ね達成された	88.89% ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	農業を取り巻く現状を考えると、設備投資に対する意欲の低下もあり、厳しい状況ではあるが、制度の利用が増加すれば成果が向上していく。後期基本計画に掲げる「農業経営の活性化」に対する貢献度は高い。			
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし				
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率	
		評価不可	新規利子補給審査件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	156.79% 増加している 286,337.00 円	113.40% 増加している 324,714.00 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	直接事業費は、借入金により推移するため改善の余地はない。利子補給という補助事業であり、受益者負担を考慮の上、制度設計されたものである。			
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	さいかつ農業協同組合からの借入のみ利子補給金の対象としていたが、武威野銀行吉川支店からの借入金についても利子補給金の対象とした。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>金利が上昇した場合は、コストが掛かる。</td> <td>低金利が続いているので、コストが下がっている。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	金利が上昇した場合は、コストが掛かる。	低金利が続いているので、コストが下がっている。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
金利が上昇した場合は、コストが掛かる。	低金利が続いているので、コストが下がっている。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	市民視点の観点から、情報を分かりやすく提供できるよう努める。					

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	農事組合振興事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農政係		
	事業期間	昭和54年度 ~ 未設定	事業年齢	41歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市農事組合規則		
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(1)農業経営の活性化			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			款	項	農林水産業費	農業費
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	細目	農業振興費	農業振興事業
	目的	対象(誰を、何を)	農事組合に加入している農業者			手段(どのような事業を行うのか)	農事組合長会議を開催し、農業振興に関する施策や課題等を審議する。	
	対象年齢	15	99					
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	農業振興施策の理解が進むとともに、農事組合の振興に貢献する。							
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50410701	農事組合長会議開催	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					50410702	農事組合長報酬支払	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	2,107	2,104	2,110	2,097	△ 7	2,106	2,106
	② 人件費	1,087	851	869	985	134	985	985
	正職員投入人員	0.14人	0.11人	0.11人	0.13人	0.02人	0.13人	0.13人
	正職員人件費	1,087	851	869	985	134	985	985
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	3,194	2,955	2,979	3,082	127	3,091	3,091	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	3,194	2,955	2,979	3,082	127	3,091	3,091
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 農事組合数	組合	69	69	69	69	69
	② 農事組合数		69	69	69		
活 動 指 標	① 農事組合長会議開催数	回	2	2	2	2	2
	② 農事組合長会議開催数		2	2	0		
	③						
成 果 指 標	① 農事組合加入世帯	世帯	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
	② 農事組合加入世帯(営農計画書配布世帯のみ)		1,213	1,206	1,189		

・市内の農業を営む組合に各1名の農事組合長を置く。
 ・農事組合長会議を開催し、農業振興施策の情報共有を図る。

農事組合数	平均割	合計
69組合	23,500円	1,621,500円
世帯数	世帯割	合計
1,189世帯	400円	475,600円

・例年6月と2月に開催している農事組合長会議は新型コロナ感染対策のため開催せず、資料配布のみ行った。

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	意図については、吉川市の農業全般に貢献するため妥当であり、対象・手段についても各農業組合の代表を通じて事業を行っており妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					役割分担については、農業行政の推進や農事組合の振興に貢献する事業であり、妥当である。
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① 農事組合長会議開催数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	91.46% ★★★★ 概ね達成された	① 農事組合加入世帯 (増加目標指標)	93.31% ★★★★ 概ね達成された	92.77% ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	農業者へ各制度の理解を深めることにより、成果の向上の余地はある。農業組合の振興は、市の農業行政の推進につながるため、貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率 	
		評価不可	農事組合長会議開催数 活動指標を単位として換算 単位：円/回 直接事業費は、農事組合長への報酬であり、受益者負担という考えはない。	106.80% 若干増加している 1,596,970.00 円	92.51% 若干減少している 1,477,425.00 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	市内の農業者へ農業施策等の連絡調整を担う農事組合制度の役割は重要であるが、農業者の減少による組合内の結びつきの低下も懸念されたため、地域の現状について注視していく必要がある。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 組合員数の減少により、存続が危ぶまれる組合が生じている。	機会(プラス要素) 地域の結びつきが強まり、農事組合の振興に繋がる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	地域特性を把握し、今後の取り組みについて検討する必要がある。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	市民農園管理運営事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農政係				
	事業期間	平成7年度	～	未設定	事業年齢	25歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重
	根拠法令等	吉川市市民農園条例								
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施策	第5節 魅力ある農業の振興				直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	施策小項目	(2)市民に理解される農業振興				予算科目	会計区分	一般会計		
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				款	項	農林水産業費 農業費		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				目	細目	市民農園費 市民農園管理運営事業		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				執行方法	一部委託 施設管理等を市民農園管理組合へ委託			
目的	対象(誰を、何を)	農業体験を希望する全市民等。								
	対象年齢	00	99	全年齢(市外の方含む)						
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	農業への理解が深まり、健康的でゆとりのある生活が送れる。								
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		50410801	市民農園管理運営事業	
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			601108		50410802	市民農園施設点検管理業務		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
A トータル コスト	① 事業費	16,669	12,238	24,811	24,069	11,831	15,110	9,729	
	② 人件費	6,213	6,729	6,872	7,271	542	7,271	7,271	
	正職員投入人員	0.80人	0.87人	0.87人	0.96人	0.09人	0.96人	0.96人	
	正職員人件費	6,213	6,729	6,872	7,271	542	7,271	7,271	
	会計年度任用職員人件費					0			
③ 間接経費(加算)					0				
④ コスト対象外(除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		22,882	18,967	31,683	31,340	12,373	22,381	17,000	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金			11,338	6,215	6,215			
	国補助率			1	1				
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市債					0			
⑨ その他		120	74	60	0	△74	60	60	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)		4,216	4,074	4,048	4,131	57			
受益者負担率(⑩÷⑤)		18.43%	21.48%	12.78%	13.18%				
C	吉川市年間負担経費(A-B)		18,546	14,819	16,237	20,994	6,175	22,321	16,940
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 市民農園等の利用可能区画数	区画	308	307	307	307	307
	市民農園及びグリーンファームの全区画数		307	307	304		
②	全市民	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
	全市民		72,877	73,014	73,217		
活 動 指 標	① 市民農園の利用区画数(30㎡)	区画	116	116	116	116	116
	年度末で利用している区画数		108	91	105		
	② 市民農園の利用区画数(50㎡)	区画	105	104	104	104	104
	年度末で利用している区画数		77	66	81		
③	グリーンファームの利用区画数	区画	88	87	87	87	87
	年度末で利用している区画数		85	81	87		
成 果 指 標	① 市民農園等利用区画数	区画	309	307	304	307	307
	市民農園及びグリーンファーム全区画のうち年度末の利用区画数		270	238	273		
	② 利用率	%	100	100	100	100	100
市民農園等利用区画数/市民農園等の利用可能区画数		88	78	90			

評価年度 の 主な 取組	1 市民農園・グリーンファーム利用状況(年度末現在)				2 イベント開催状況		
	施設名	区画数	利用区画数	利用率	日付	イベント名	備考
	市民農園	217区画	186区画	86%	R2.5.9	体験田植え	吉川産農産物販売促進協議会主催(コロナにより中止)
	30㎡区画	112区画	105区画	94%	R2.5.30	さつまいも植え付け体験	新型コロナウイルスの影響により中止
	50㎡区画	105区画	81区画	77%	R2.5.31	グリーン作戦&栽培講習会	
	グリーンファーム	87区画	87区画	100%	R2.6.1	ほたる幼虫放流(1日目)	
	合計	304区画	273区画	90%	R2.6.2	ほたる幼虫放流(2日目)	
					R2.6.26	ほたる観賞会(1日目)	
					R2.6.27	ほたる観賞会(2日目)	
					R2.10.3	さつまいも収穫体験	
				R2.10.25	コスモまつり		
				R2.12.5	家庭教育講座	生涯学習課主催事業	
	※体験稲刈り、市民農園収穫祭については、日程を決める前に中止。						

事業 評価	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	第5次総合振興計画後期基本計画においても「市民に理解される農業振興」を掲げており、妥当である。また、その対象・手段についても希望のある市民に広く農園を貸し出すものであり、妥当である。				
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
			活動指標	90.52% ★★★★ 概ね達成された	① 市民農園の利用区画数(30㎡) (増加目標指標)	93.10% ★★★★ 概ね達成された	78.45% ★★★ 達成度がやや低い	
		成果指標	90.00% ★★★★ 概ね達成された	② 利用率 (増加目標指標)	88.00% ★★★★ 概ね達成された	78.00% ★★★ 達成度がやや低い		
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	利用率が100%となるよう募集やPRIに努める必要がある。第5次総合振興計画後期基本計画に掲げる「市民に理解される農業振興」に大きく貢献する。				
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
143.20% 増加している 298,475.85 円			市民農園の利用区画数(30㎡) 活動指標を単位として換算 単位:円/区画	154.09% 増加している 211,868.52 円	98.38% 若干減少している 208,433.52 円			
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	管理組合への委託料を最小限に抑えているため、公の施設として他のアウトソーシングを活用した場合においてもコスト削減となる可能性は低い。平成22年度にグリーンファームの使用料を改正し、受益者負担の適正化を図った。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改革 改善	これまでの改革・改善内容	平成22年度にグリーンファームの使用料を改定した。平成23年度から、農業体験から農園利用へつなげるため、さつまいも体験事業を行っている。平成24年度から、市民の憩いの場となるよう花回廊・果樹回廊事業を行っている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	利用者ニーズ及び地域特性を把握したうえでの運営が必要である。	

事業 一次 評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	未整備地区の活用について、引き続き検討を行う。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次 評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	農業振興及び地域活性化に繋がる施設となるよう検討を行う。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	農業振興地域整備事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農政係			
	事業期間	昭和47年度 ~ 未設定	事業年齢	48歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	農業振興地域整備の整備に関する法律			
	基との 関 係	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(3)生産基盤の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計	
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	農林水産業費	農業費
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	農業振興費	農業振興事業	
		目的 的 意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	農業振興地域の優良農地が適切に保全される。			執行方法	直営		
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			手 段 (どのよう な事業を行 うのか)	農業振興地域整備計画の変更(除外)の申し出により、関係機関(県、農業委員会、建築課及び農政課)との事前協議及び土地改良区、JA、農業委員会の意見聴取を行い、農業振興地域整備促進協議会へ諮問し答申を受けた上で、農業振興地域整備計画を変更する。			
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50410901	農業振興地域整備事業
		601109							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	6,086	784	503	455	△ 329	503	503
	② 人件費	6,834	8,818	9,005	8,634	△ 184	8,634	8,634
	正職員投入人員	0.88人	1.14人	1.14人	1.14人	0	1.14人	1.14人
	正職員人件費	6,834	8,818	9,005	8,634	△ 184	8,634	8,634
	会計年度任用職員人件費					0		
	③ 間接経費(加算)					0		
	④ コスト対象外(除外)					0		
	⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	12,920	9,602	9,508	9,089	△ 513	9,137	9,137
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
	⑨ その他	23	22	27	29	7	29	29
	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等) 受益者負担率(⑩÷⑤)					0		
	C 吉川市年間負担経費(A-B)	12,897	9,580	9,481	9,060	△ 520	9,108	9,108
	D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 農業振興地域内の農用地面積	ha	1,038	1,036	1,034	1,032	1,030
	市内の農業振興地域内農用地面積の合計		1,042	1,042	1,040		
活 動 指 標	① 除外認可件数	件	30	30	20	20	20
	年度内に農用地区域から除外認可された件数		17	13	21		
成 果 指 標	① 申請から認可までに要する月数	月	12	18	18	18	18
	実際に認可まで要した月数		18	24	19		
	②						

評価年度の主な取組	1 令和2年度認可件数	
	申請理由	件数
	分家住宅・自己用住宅	7
	農家住宅	0
	既存施設の拡張	4
	店舗(都計法第34条1・8号)	0
	資材置場	3
	駐車場	7
	その他	0
	合計	21
農用地編入	2	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	農業振興と優良農地の保全という意図も法律の趣旨に基づくものであり、対象・手段についてもこれらの目的のために行うものであり、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	農業振興地域の整備に関する法律による事務であり、行政が行う事務として妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	95.00% ★★★★ 概ね達成された	① 除外認可件数 (減少目標指標)	143.33% ★★★★★ 達成された	156.67% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	94.44% ★★★★ 概ね達成された	① 申請から認可までに要する月数 (減少目標指標)	50.00% ★★★ 達成度がやや低い	66.67% ★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	除外申請件数は今後も増加していくものと考えられるが、適正な審査のもと必要最小限度とすることで、優良農地の保全に努める必要がある。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	基本計画に掲げる「優良農地の確保・保全」に対する貢献度は極めて高い。				
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		58.60% 減少している 432,826.67 円	除外認可件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	188.81% 増加している 760,004.71 円	97.18% 若干減少している 738,607.69 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	認可事務であり、コストの改善は難しい。法律による市の計画に係る事務であり、受益者負担の考え方はなじまない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	審査期間に24か月要していた時期があったが、処理期間の短縮に努め、18か月前後で処理している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 4haを超える案件が申請されると、審査する機関の増加により処理期間が長くなる。	機会(プラス要素) 国が浸水予定地域に建築許可をすることに慎重になっているため、一般住宅の申請件数が減少する見込み。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	国・県の動向など情報把握に努める。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 所管部署名, 事前評価日, 根拠法令等, 事業区分, 事務事業の性質, 直接事業費, 予算科目, 会計区分, 執行方法, 対象, 意図, 類似事業, 前年度事務事業.

Table with 10 columns: 区分, 区分, 平成30年度決算(千円), 令和元年度決算(千円), 令和2年度 予算(千円), 令和2年度 決算(千円), 増減額(千円), 令和3年度当初(千円), 令和4年度計画(千円).

Table with 10 columns: 目, 区分, 指標名(上段), 単位, 平成30年度 目標(見込)値, 令和元年度 目標(見込)値, 令和2年度 目標(見込)値, 令和3年度 計画(見込)値, 令和4年度 計画(見込)値.

評価年度の主な取組	家畜伝染病発生予防のためワクチン接種及び害虫発生予防のための殺虫剤散布に対する補助申請について審査を行い、補助金の支払いを行った。	
	内訳	補助額
	養鶏(旭地区)	67,000円
	養鶏(三輪野江地区)	118,000円
※養鶏業(旭地区)について令和2年度事業縮小につき補助額が減少した。		

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	害虫駆除について環境保全の観点から必要な支援である。その対象及び手段としても、補助金の交付により畜産農家が必要な防除を行えるものであり妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	伝染病の発生は、広域化の可能性もあり、畜産農家単独の問題ではないため、行政が予防を支援していく必要がある。役割分担は妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	46.25% ★★ 達成度が低い	① 補助金交付額 (増加目標指標)	99.75% ★★★★ 概ね達成された	78.75% ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成度された	① 家畜伝染病発生件数 (ゼロ値目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	日々の予防対策が必要であるため、県からの情報提供に努めるなど、継続した取り組みが必要となる。後期基本計画に掲げる「安定・持続した農業経営」に対する貢献度は高い。				
価効性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		178.89% 増加している 2.23 円	補助金交付額 活動指標を単位として換算 単位: 円/円	97.86% 若干減少している 1.19 円	104.26% 若干増加している 1.25 円		
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	防除対策に必要な最小限度の補助としているところであり、コスト改善は難しい。市要綱に基づく補助事業であり、受益者負担を考慮し、制度設計されている。					
受益者負担適正化の余地	令和2年度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	補助率の改定を行った。各畜産農家は努力しているものの、害虫の発生や臭気の課題は残るため、支援を継続する必要がある。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
		家畜伝染病は畜産農家のみならず、市民全体にとっても脅威となる。	家畜伝染病や害虫の発生を予防することにより、環境保全に繋がる。
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	家畜伝染病や害虫苦情等、行政が把握する情報を的確に伝え、対策する必要がある。		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including '市民まつり農業まつり事業', '事業期間', '事業区分', '実施計画の位置付け', '対象', '手段', and '業務プロセス'.

Table with financial data including '区分', '平成30年度決算(千円)', '令和元年度決算(千円)', '令和2年度' (with sub-columns for budget, actuals, and change), '令和3年度当初(千円)', and '令和4年度計画(千円)'.

Table with performance indicators including '区分', '指標名(上段)', '計算式・説明(下段)', '単位', and '実績値' for various metrics like '実行委員会参加農業団体数'.

評価年度の主な取組	令和2年11月14日(土)に農産物品評会、翌15日(日)に市民まつり農業まつりを開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止となったため、令和2年度は実績なし。
-----------	---

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市民と協働で実施するイベントであり、実行委員会において役割分担を決めているものである。吉川産の農産物のPRと地産地消は、前期基本計画においても掲げられているテーマであり、意図は妥当である。また、市民まつりと同時開催であり、たくさんの市民が参加し効果も高く、対象・手段も妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					実行委員会において決めている役割分担は妥当である。
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	<p>▲活動 ●成果</p> <p>変動率</p>
		活動指標	50.00% ★★★★ 達成度がやや低い	① 実行委員会開催回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	★ 達成度がかなり低い	② 農業まつり品評会(農産物)出展数 (増加目標指標)	98.75% ★★★★ 概ね達成された	59.75% ★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	参加する団体も限られており、これ以上の向上の余地はない。吉川産農産物のPR、地産地消の推進、さらには農業団体の振興にもつながっており、後期基本計画への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		7.13% 減少している 227,220.00 円	実行委員会開催回数 活動指標を単位として換算 単位: 円/回	135.60% 増加している 1,913,567.00 円	166.49% 増加している 3,185,850.00 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	現状では、必要最低限のコストとなっており、改善は難しい。生産者と消費者をつなぐイベントであり、受益者負担の考えはなじまない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容					
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>大きな災害等が発生した際、イベントが開催できない。</td> <td>市内農産物を知ってもらう機会となる。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	大きな災害等が発生した際、イベントが開催できない。	市内農産物を知ってもらう機会となる。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
大きな災害等が発生した際、イベントが開催できない。	市内農産物を知ってもらう機会となる。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	市民のニーズに合わせた市民まつりを実施していく必要がある。					

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	農業団体支援事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農政係				
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	根拠法令等	吉川市農業振興団体補助金交付要綱					
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(1)農業経営の活性化			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	予算科目	会計区分	一般会計				
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	款	項	農林水産業費	農業費			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	目	細目	農業振興費	農業団体支援事業			
	目的	対象(誰を、何を)	吉川市農業経営等受託者連絡協議会 JAさいかつ吉川園芸部 JAさいかつ吉川採種組合			手段 (どのような事業を行うのか)	各団体の活動費の一部を補助する。			
意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)	対象年齢	-	-	各団体の活動が促進されることにより、市内の農業振興が活性化する。						
類似事業	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	50411201	農業振興団体育成事業			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	601112							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	219	219	219	219	0	219	219
	② 人件費	621	155	158	151	△3	151	151
	正職員投入人員	0.08人	0.02人	0.02人	0.02人	0	0.02人	0.02人
	正職員人件費	621	155	158	151	△3	151	151
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	840	374	377	370	△3	370	370	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	840	374	377	370	△3	370	370
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象 指標	① 農業振興団体の数	団体	3	3	3	3	3
	② 農業振興団体の数		3	3	3		
活動 指標	① 補助金額	円	219,000	219,000	219,000	219,000	219,000
	② 補助金額		219,000	219,000	219,000		
	① 補助金交付件数	件	3	3	3	3	3
	② 補助金交付件数		3	3	3		
成果 指標	① 会員の総数	人	130	130	130	130	130
	② 農業振興団体の会員数の合計		116	116	97		

各団体の活動費の一部補助を行った。

補助団体名	会員数	補助額
農業経営等受託者連絡協議会	8名	73,000円
JAさいかつ吉川園芸部	65名	73,000円
JAさいかつ吉川採種組合	24名	73,000円
計	97名	219,000円

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市の農業振興を図る事業を進めていくためには必要な団体であり、市としても支援する必要がある。農業団体の支援や地産地消の推進は、市の農業振興につながるものであり意図として妥当である。その対象・手段についても、団体の活動を支援するものであり、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 補助金額 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	74.62% ★★★ 達成度がやや低い	① 会員の総数 (増加目標指標)	89.23% ★★★★ 概ね達成された	89.23% ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	必要最低限の支援となっているが、各団体の自主的な活動を促すことが必要である。後期基本計画に掲げる「農業団体の支援」も対する貢献度が高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		99.14% ほぼ変動していない 1.69円	補助金額 活動指標を単位として換算 単位:円/円	107.73% 若干増加している 3.84円	44.47% 減少している 1.71円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	必要最低限の支援となっており、コスト改善は難しい。補助事業であり、受益者負担を考慮した制度設計となっている。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容					
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米・野菜の市場価格の下落、団体会員数の減少</td> <td>巣ごもり需要による米・野菜の需要の増加</td> </tr> </tbody> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	米・野菜の市場価格の下落、団体会員数の減少	巣ごもり需要による米・野菜の需要の増加
リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)					
米・野菜の市場価格の下落、団体会員数の減少	巣ごもり需要による米・野菜の需要の増加					
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	会員数が減少する中で、将来の方向性・取り組みを考える必要がある。				

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	農地集積促進事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農政係				
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	根拠法令等	農業経営基盤強化法、農地中間管理事業の推進に関する法律等					
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(3)生産基盤の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	予算科目	会計区分	一般会計				
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	款	項	農林水産業費	農業費			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	目	細目	農業振興費	農業後継者確保育成事業			
	目的	対象(誰を、何を)	(直接の対象)農地 (最終的な対象)農地の貸し借りを希望する土地所有者又は農業者			手段 (どのような事業を行うのか)	・農地を管理・耕作することが難しい土地所有者と規模拡大を目指す農業者とを仲介し、利用権設定や農地中間管理事業を活用した貸借等の設定を行う。			
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	対象年齢	-	-	・農地の遊休化が減少する。 ・農業者の経営規模が拡大する。 ・農作業の効率化が進む。						
類似事業	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	50411301	利用権設定等促進事業			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無								

区分	区分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	17	2	0	0	△ 2	0	84
	② 人件費	699	619	632	606	△ 13	606	606
	正職員投入人員	0.09人	0.08人	0.08人	0.08人	0	0.08人	0.08人
	正職員人件費	699	619	632	606	△ 13	606	606
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	716	621	632	606	△ 15	606	690	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	716	621	632	606	△ 15	606	690
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	①	全農家数		戸	789	789	789	789	789
		最新版の農林業センサス掲載数			789	789	595		
活動指標	①	利用権設定筆数		筆	100	100	200	200	200
		年度内に利用権を設定した筆数			457	222	158		
成果指標	①	利用権設定面積		㎡	80,000	80,000	180,000	180,000	180,000
		年度内に利用権を設定した面積			347,260	184,253	116,613		
	②								

評価年度 の 主 な 取 組	1 利用権設定面積(年度末現在)			
	地目	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末
	田	895,882㎡	1,013,369㎡	1,047,538㎡
	畑	49,689㎡	56,989㎡	64,429㎡
	合計	945,571㎡	1,070,358㎡	1,111,967㎡

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	意図及び対象・手段については、生産基盤である農地を良好な状態で維持しようとするものであり、法の趣旨にも合致するものであり、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					農業経営基盤強化促進法に基づく市町村の事務である。
業 効 性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	79.00% ★★★★ 達成度がやや低い	① 利用権設定筆数 (増加目標指標)	457.00% ★★★★★ 達成された	222.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	64.79% ★★★★ 達成度がやや低い	① 利用権設定面積 (増加目標指標)	434.08% ★★★★★ 達成された	230.32% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	農業者の高齢化が進むなかで、管理・耕作することが難しくなる農家が増えており、集積による成果が向上する余地がある。後期基本計画に掲げる「生産基盤の整備」に対する貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率	
		137.14% 増加している 3,834.94 円	利用権設定筆数 活動指標を単位として換算 単位：円/筆	125.42% 増加している 1,566.61 円	178.50% 増加している 2,796.40 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	直接事業費は最低限の事務的経費のみで、また、人件費も利用権設定件数によって増減するものであることから、コスト改善の余地はない。行政として農地の保全、集約等を進めるための法律の定められた制度の事務であり、受益者負担の考えはない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	農地中間管理事業について、農事組合長会議、農業経営等受託者連絡協議会等で周知するとともに、要望のあった自治会・農事組合にて説明会を開催した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	遊休農地化を防ぐため、農業委員会と連携を図り、農地の状況把握に努める。	

事業(一次)の 方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	「実質化された人・農地プラン」の作成に伴い、農地中間管理事業等を活用することにより、農地の集積化・集約化を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	地区ごとに作成する「実質化された人・農地プラン」を最大限活用し、農地の集積・集約化を図る。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including '安全安心農産物事業', '所管部署名 産業振興部 農政課 農政係', '事前評価日 令和2年11月30日', and various checkboxes for implementation status and funding.

Table showing financial breakdown by category (A-D) and year (Heisei 30, Reiwa 2, Reiwa 3, Reiwa 4). Includes rows for '事業費', '人件費', '間接経費', and '国庫支出金'.

Table for '目標設定' (Target Setting) with columns for '区分', '指標名', '単位', and performance values for Heisei 30, Reiwa 2, Reiwa 3, and Reiwa 4. Includes indicators like '販売農家数' and '食品表示法品質表示相談件数'.

評価年度 の 主な 取組	埼玉県等が実施する農産物の調査に当たり、吉川産農産物の検体採取に協力した。	
	令和2年度実績	
	検体	件数
	米	3件
	筍	1件

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	生産者の営農意欲を維持し、消費者への安全をPRすることは、行政の役割として妥当である。意図については、農業経営の安定と消費者の安全安心に繋がるものであり妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 食品表示法品質表示相談件数 (ゼロ値目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 食品表示法適正化対応件数 (ゼロ値目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	安全な農産物が大前提となるものであり、成果向上の余地はない。後期基本計画に掲げた「安定・持続した農業経営」や「農業や食に関する理解が深まる機会の提供」に繋がる事業であり、貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		評価不可	食品表示法品質表示相談件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	評価不可	評価不可		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	補助金については国や県と協調したものであり、コスト改善は困難である。生産者及び消費者の双方が受益を受ける事業であり、受益者負担の考えは馴染まない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容		
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 埼玉県が実施する調査が減少傾向にある。	機会(プラス要素) 市単独で実施していた放射性物質検査は全て基準値が下回り平成25年で終了しているが、基準より下回ることで吉川産物産物に対する風評被害を防止することができる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	国や県の動向など情報把握に努める。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with columns for '基', '本', '事', '項' and rows for '事務事業名', '事業期間', '事業年齢', '所管部署名', '事前評価日', '根拠法令等', '事業区分', '事業事業の性質', '直接事業費', '予算科目', '会計区分', '執行方法', '対象', '意図', '類似事業', '前年度事務事業'.

Table with columns for '区分', '区分', '平成30年度決算(千円)', '令和元年度決算(千円)', '令和2年度 予算(千円)', '令和2年度 決算(千円)', '増減額(千円)', '令和3年度当初(千円)', '令和4年度計画(千円)'. Rows include 'A トータルコスト', 'B 特定財源', 'C 吉川市年間負担経費(A-B)', 'D 補助・単独区分'.

Table with columns for '目', '区分', '指標名(上段)', '単位', '平成30年度 目標(見込)値', '令和元年度 目標(見込)値', '令和2年度 目標(見込)値', '令和3年度 計画(見込)値', '令和4年度 計画(見込)値'. Rows include '対象指標', '活動指標', '実績指標'.

評価年度の主な取組	1 認定新規就農者数		
	営農類型	人数	うち給付金対象者
	施設野菜	1人	1人
	露地野菜	1人	1人
	合計	2人	2人

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	就農後5年間に限定し、給付金を給付することで、経営の安定を図るものであり、対象及び手段は妥当である。農業経営の安定と定着が新規就農者にとっては特に重要であり、意図も妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	② 給付金支給件数 (増加目標指標)	75.00% ★★★★ 達成度がやや低い	75.00% ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 青年新規就農者の離農者 (ゼロ値目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	成果指標が離農者数0としているため、これ以上の成果向上はないが、今後もこの結果を維持できるよう取り組む。後期基本計画に掲げる「担い手となる農業者の確保・支援」に対する貢献度は高い。				
効率性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		130.44% 増加している 1,670.89 円	給付金支給額	90.13% 若干減少している 1,145.36 円	111.84% 増加している 1,280.98 円		
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	コスト改善の余地は人件費だけであるが、相談や経営状況の確認によるものであり、これ以上の削減は難しい。所得制限等もあり、受益者負担を考慮した上での制度設計となっている。					
変動率	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	市内若手農業者に密着した冊子を作成し、職業としての農業の魅力や吉川市内で農業を行うメリット(吉川産農産物の魅力、立地条件の良さ等)を積極的に発信した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	将来を見据えた農業の在り方を踏まえ、新規就農者への支援を行う必要がある。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	次世代農業推進事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農政係		
	事業期間	令和2年度 ~ 未設定	事業年齢		事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		根拠法令等	農業振興における連携協力に関する協定書		
		まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
		施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度
		施策小項目	(2)市民に理解される農業振興			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		予 算 科 目	会計区分	一般会計	
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			款	農林水産業費	農業費
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	農業振興費	農業振興事業
		目的	対象 (誰を、何を)	市民及び市内農業者			目 細 目	
		対象年齢	00	99	全年齢	執行方法	市民等協働 企業、大学等と市による連携	
		意 図 (対象にどのような状態に なしてほしいのか)	農業生産基盤が整備され、生産効率の高い農業が行われる。			手 段 (どのような 事業を行うのか)	次世代の視点を取り入れた持続可能な産業として独自の都市近郊農業を確立し、吉川市の農業の活性化及び農業を通じた地域活性化を図る。	
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	前年度事務事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	0	0	500	500	500	500	500
	② 人件費			1,027	1,363	1,363	1,363	1,363
	正職員投入人員			0.13人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
	正職員人件費			1,027	1,363	1,363	1,363	1,363
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		0	0	1,527	1,863	1,863	1,863	1,863
B 特定財源	⑥ 国庫支出金						0	
	国補助率							
	⑦ 県支出金						0	
	県補助率							
	⑧ 市債						0	
⑨ その他						0		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)						0		
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	1,527	1,863	1,863	1,863	1,863
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 全市民	人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
	① 全市民		72,877	73,014	73,217		
活 動 指 標	① 次世代農業について検討する会議等の開催回数	回			12	12	12
	① 吉川市農業活性化検討会議等の開催回数				11		
	②						
成 果 指 標	① 次世代農業に関する提案事業の実施数	事業			2	2	2
	① 吉川市農業活性化検討会議等から提案された事業の実施数				3		
	②						

評価年度の主な取組	千葉大学園芸学部との包括連携協定に基づく研究等実績	
	① 吉川市農業活性化検討会議の開催(有識者参加) 11回	
	② 産業振興会議の開催(アドバイザー派遣) 1回	
	③ 農家座談会の開催(アドバイザー派遣) 1回	
	④ 提言書説明用動画制作	
⑤ その他、吉川市の農業に関する分析に係るもの(農家訪問・指導等)		

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	農業生産基盤が整備され、生産効率の高い農業が行われるため、独自の都市近郊農業を確立し、市の農業の活性化及び農業を通じた地域活性化を図ることは妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	91.67% ★★★★ 概ね達成された	① 次世代農業について検討する会議等の開催回数 (増加目標指標)			
	成果指標	150.00% ★★★★★ 達成された	① 次世代農業に関する提案事業の実施数 (増加目標指標)				
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	次世代の農業を考える機会を増やすため、会議を開催し、積極的な事業提案及び実施を行う。 第5次総合振興計画後期基本計画に掲げる「市民に理解される農業振興」に大きく貢献する。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率	
		評価不可 621,106.67 円	次世代農業に関する提案事業の実施数 成果指標を単位として換算 単位：円/事業				
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	現状では、必要最低限のコストとなっており、改善は難しい。 大学との連携によるため、受益者負担の適正化は馴染まない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容					
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>事業実施に当たり、莫大な費用がかかる。</td> <td>持続可能な新たな農業の展開が図れる。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	事業実施に当たり、莫大な費用がかかる。	持続可能な新たな農業の展開が図れる。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
事業実施に当たり、莫大な費用がかかる。	持続可能な新たな農業の展開が図れる。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	市民視点及び持続可能性視点から見た次世代の産業を確立させる必要がある。					

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 所管部署名, 事前評価日, 根拠法令等, 事業区分, 事務事業の性質, 直接事業費, 予算科目, 会計区分, 執行方法, 対象, 意図, 類似事業, 前年度事務事業.

Table with 10 columns: 区分, 区分, 平成30年度決算(千円), 令和元年度決算(千円), 令和2年度(予算/決算/増減額), 令和3年度当初(千円), 令和4年度計画(千円). Rows include A (事業費), B (特定財源), C (吉川市年間負担経費), D (補助・単独区分).

Table with 10 columns: 目, 区分, 指標名(上段), 単位, 平成30年度(目標/実績), 令和元年度(目標/実績), 令和2年度(目標/実績), 令和3年度計画(見込), 令和4年度計画(見込). Rows include 対象指標, 活動指標, 成果指標.

評価年度の主な取組	1 農地維持支払交付金・水路の泥上げや草刈り等、地域資源の保全管理事業(令和元年度～令和5年度まで)						
	年度	組織数	自治会数	活動面積(a)		交付金額(円)	市負担金(円)
				田	畑		
	R2	9組織	9	12,821	459	3,938,100	984,525
	2 資源向上支払交付金(共同)・水路の軽微な補修、植栽や美化活動等の地域資源の質的向上活動(令和元年度～令和5年度まで)						
	年度	組織数	自治会数	活動面積(a)		交付金額(円)	市負担金(円)
				田	畑		
	R2	5組織	5	8,021	369	1,236,360	309,090
	3 資源向上支払交付金(長寿命化)・農業用水路等の施設の長寿命化の為の補修や更新活動(令和元年度～令和5年度まで)						
	年度	組織数	自治会数	活動面積(a)		交付金額(円)	市負担金(円)
			田	畑			
R2	6組織	6	10,321	419	3,865,919	966,483	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	各交付金を利用することにより、地域資源の保全や質の向上した農業環境を活用するものであるため、妥当と判断した。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 活動面積 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	69.06% ★★★ 達成度がやや低い	② 活動参加者の昨年度対比率 (増加目標指標)	105.34% ★★★★★ 達成された	55.42% ★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	農業生産基盤の保全と環境向上を図る活動費の一部を負担するものであり、成果向上の余地はあると判断する。また、地域住民による共同活動により、農業生産基盤の保全と質的向上を図るものであり、貢献度は高いと判断した。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		53.53% 減少している 105,665.79 円	活動組織継続率 成果指標を単位として換算 単位: 円/%	90.01% 若干減少している 164,051.00 円	120.33% 増加している 197,408.72 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	国の基準に基づき負担するものであり、コスト改善の余地はない。また、国の基準で、県、市に負担を求めており、受益者負担の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	要綱改正等を受け、活動組織が作成する書類が簡素化されつつあるが、依然として煩雑である為、書類作成に協力する必要がある。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 高齢化により、活動参加者が減少している。	機会(プラス要素) 新規に活動組織が形成されることで、補助要望を増額することが可能となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	HP等でさらに周知することで、新規活動組織の拡充を図ることができる。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	現在、事業を利用している活動組織と事業内容等の確認を行い、引き続き、事業の進捗を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	現在、事業を利用している活動組織と事業内容等の確認を行い、引き続き、事業の進捗を図る。			
	二次評価日	令和3年6月17日			

Table with project details including '用排水路維持管理事業', '事業期間', '事業区分', '実施計画の位置付け', '目的', '類似事業', and '前年度事務事業'.

Table with financial data including '区分', '平成30年度決算(千円)', '令和元年度決算(千円)', '令和2年度' (予算, 決算, 増減額), '令和3年度当初(千円)', and '令和4年度計画(千円)'.

Table with performance indicators including '区分', '指標名(上段)', '単位', '平成30年度', '令和元年度', '令和2年度', '令和3年度', and '令和4年度'.

評価年度の主な取組	1 施設修繕費(5,976,850円)			3 工事請負費(6,600,000円)					
	工事内容等		箇所数	契約額(円)	工事名		工事場所	工事内容	契約額(円)
	用排水路構造物等の修繕		24箇所	5,976,850	南広島地内水路底盤補修工事		南広島	底盤補修工L=80.7m	2,640,000
	職員対応(簡易修繕・不法投棄等)		77箇所	—	土場地内水路付替工事		土場	水路布設替工L=37.5m	3,960,000
	2 委託料(4,797,100円)								
	工事内容等		箇所数	契約額(円)					
	ポンプ点検委託料		ポンプ点検	165,000					
	も雑草刈り委託料		地域で出来ない水路除草	601,700					
	用排水路清掃委託料		水路掘削・清掃	4,030,400					

事業	区分		評価結果	判断理由(特記事項)					
	事業性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	多面的事業による共同作業での維持管理が難しい水路について、所有者である市が補修や改修等により水路の機能を保全することで、農業の生産基盤施設を維持できるため、妥当と判断する。 補修や改修等により水路機能が保持され適正な保全体制の向上が図れる。また、従来あった良好な状態に回復することで、農村環境の保全が見られることから、成果の向上及び貢献度が図れると判断する。				
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
役割分担(行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
事業性	有効性	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)		平成30年度	令和元年度		
		活動指標	112.22% ★★★★★ 達成された	① 補修要望処理件数 (増加目標指標)	224.44% ★★★★★ 達成された	116.67% ★★★★★ 達成された			
	成果指標	75.56% ★★★ 達成度がやや低い	① 用排水路の補修要望処理率 (増加目標指標)	79.59% ★★★ 達成度がやや低い	78.29% ★★★ 達成度がやや低い				
	成果向上の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	補修や改修等により水路機能が保持され適正な保全体制の向上が図れる。また、従来あった良好な状態に回復することで、農村環境の保全が見られることから、成果の向上及び貢献度が図れると判断する。					
	上位施策への貢献度		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
事業性	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標		平成30年度	令和元年度		
		変動率	91.17% 若干減少している 271,837.30 円	補修要望処理件数 活動指標を単位として換算 単位: 円/件	89.49% 減少している 285,332.52 円	104.49% 若干増加している 298,156.09 円			
	コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	すでに再利用品等を活用しコスト改善に努めており、これ以上の改善は難しい。また、受益者負担が伴わない事業であるため、適正化を求める余地はない。					
効率性	受益者負担適正化の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	要望苦情を受け現地調査を実施し、危険性や緊急性、利用状況を踏まえ、補修工事を実施している。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	市内全域にある農業用水路を日常的に点検等を行うことは困難であるため、地先の住民との協力や情報提供が重要となる。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	今後も、市民や住民からの要望苦情を受け、現地調査を実施し、危険性や緊急性、利用状況等を踏まえ、補修工事等を実施する。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	今後も、市民や住民からの要望苦情を受け、現地調査を実施し、危険性や緊急性、利用状況等を踏まえ、補修工事等を実施する。			
	二次評価日	令和3年6月17日			

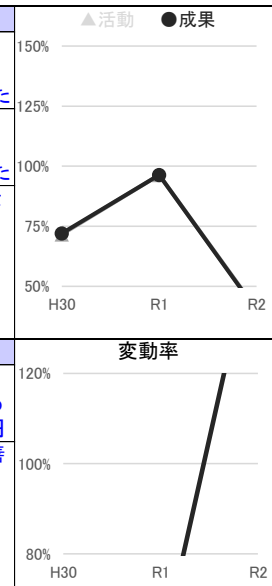
基 本 本 事 項	事務事業名	用排水路整備事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農業土木係					
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市公共物管理条例				
	基との 計画 関係	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施計画の位置付け	施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し	<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度		
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	施策小項目	(3)生産基盤の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	個別計画の位置付け	予算科目	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			会計区分	一般会計				
	目的	対象(誰を、何を)	農業用水路及び排水路			手段 (どのような 事業を行うのか)	款	農林水産業費		農業費	
	的	対象年齢	-	-	全年齢		目	農地費		用排水路整備事業	
	意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	用排水路の整備による農業生産の向上と農業環境の保全			執行方法		一部委託 工事請負施工				
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	01420101	県単土地改良事業費			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	601202									

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	50,373	40,269	23,177	22,849	△ 17,419	14,390	38,930
	② 人件費	7,688	4,409	4,818	5,605	1,196	5,605	5,605
	正職員投入人員	0.99人	0.57人	0.61人	0.74人	0.17人	0.74人	0.74人
	正職員人件費	7,688	4,409	4,818	5,605	1,196	5,605	5,605
	会計年度任用職員人件費						0	
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	58,062	44,678	27,995	28,454	△ 16,224	19,995	44,535	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金	9,484	5,775	5,775	5,775	0	660	660
	県補助率	1/2	1/3	1/3	1/2	1/2		
	⑧ 市債	24,600	28,100	18,300	18,000	△ 10,100	11,200	11,200
⑨ その他						0		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)						0		
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	23,978	10,803	3,920	4,679	△ 6,124	8,135	32,675
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり					<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 水路延長	m	469,418	469,418	469,418	469,418	469,418
	市内の水路総延長		469,418	469,418	469,418		
活 動 指 標	① 水路整備計画延長	m	972	274	250	250	250
	当該年度の水路整備延長		696	264	101		
	②						
成 果 指 標	① 水路整備率	%	100	100	100	100	100
	当該年度の実績値/目標値		72	96	40		
②							

評価年度 の 主 な 取 組	1 工事請負費 R2 20,031,000円			
	工事名	工事場所	工事内容	請負費(円)
	半割地内外用排水路整備工事	大字半割地内	水路工L=65.4m	9,570,000
	三輪野江地内(しんきぼり)水路整備工事(その7)	大字三輪野江地内	水路工L=36.3m	10,461,000
	計		L=101.7m	20,031,000
	2 負担金補助及び交付金 2,328,911円			
	事業名	負担額(円)		
	市営土地改良事業	2,233,311		
	県土地改良事業	38,000		
	春日部土地改良事業	57,600		

区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
事業 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市が管理すべき水路であり、農業基盤施設を整備することで農業の生産性が向上すると判断できるため、妥当と判断する。			
	意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
業 効 性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度
		活動指標	40.40% ★★ 達成度が低い	① 水路整備計画延長 (増加目標指標)	71.58% ★★★★ 達成度がやや低い	96.35% ★★★★ 概ね達成された
	成果指標	40.00% ★★ 達成度が低い	① 水路整備率 (増加目標指標)	72.00% ★★★★ 達成度がやや低い	96.35% ★★★★ 概ね達成された	
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	市内水路延長の半分以上は土水路であり、整備することにより農業生産性及び安全性が向上することから、成果向上の余地はある。基本計画の施策項目である「農業基盤の整備」に直結した事業であり、貢献度は高い。			
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
価 効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率
		153.41% 増加している 711,354.28 円	水路整備率 成果指標を単位として換算 単位:円/% 806,411.11 円	37.45% 減少している	57.50% 減少している 463,702.35 円	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	直接事業費や償還金は事業の実施上最低限度のものであり、現時点でのコスト改善の余地はないと判断する。また、受益者負担が伴わない事業の為、適正化を求める余地はない。			
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					



改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	水路整備において再生材を使用するなどコスト改善を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 未整備水路において、住宅との境界付近が洗掘されてしまう恐れがある。	機会(プラス要素) 適正化事業の新規拡充が検討されているため、補助対象事業が増加する可能性がある。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	市内全域にある農業用水路を日常的に点検等を行うことは困難であるため、地先の住民との協力や情報提供が重要となる。	

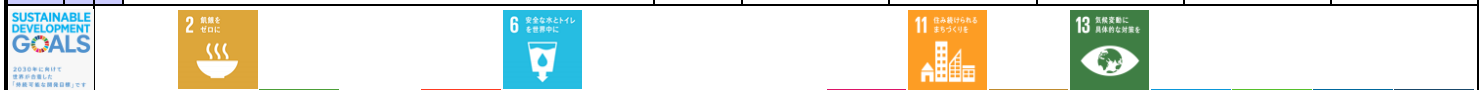
事業(一次)の 方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	今後も、市民や住民からの要望等を基に、現地調査を行い、危険性や緊急性、そして利用状況等を踏まえ、整備の推進を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	今後も、市民や住民からの要望等を基に、現地調査を行い、危険性や緊急性、そして利用状況等を踏まえ、整備の推進を図る。			
	二次評価日	令和3年6月17日			

Table with project details including name (土地改良施設維持事業), period (昭和55年度 ~ 未設定), age (40歳), and various administrative and financial categories.

Table showing financial breakdown by source (投入源) and cost (投入コスト) for the project, including categories like personnel costs, indirect costs, and subsidies.

Table for performance indicators (目標設定実績) with columns for target names, units, and values for fiscal years 2018, 2019, 2020, and 2021.



評価年度の主な取組	土地改良施設負担事業..... 17,787,831円
	1 木売落改修事業負担金 木売落改修事業負担金.....1,539,034円
	2 旭土地改良区排水路負担金 旭土地改良区排水路負担金.....6,217,646円
	3 土地改良施設維持管理適正化事業負担金 土地改良施設維持管理適正化事業負担金.....5,577,240円
	4 埼玉県治水協会負担金 埼玉県治水協会負担金..... 30,000円
	5 県営基幹水利施設管理事業負担金(県農村整備計画センター) 県営基幹水利施設管理事業負担金.....1,312,899円
	6 古利根堰管理運営事業負担金(葛西用水路土地改良区) 古利根堰管理運営事業負担金.....3,081,012円
	7 各種協議会負担金(古利根堰連絡協議会) 古利根堰連絡協議会負担金..... 30,000円

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	土地改良区が管理する施設の整備や、維持管理に伴う費用の一部を当市が負担するものであり、対象・手段は妥当であると判断する。 また、意図につきましても、趣旨に合致していることから妥当であると判断する。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	土地改良区が管理する施設の整備や、維持管理に伴う費用の一部を市が負担するものであり、役割分担は妥当であると判断する。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 実施事業数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 事業実施率 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	今回の事業対象地域は、未整備区間が整備されることにより、農業生産性の向上が見込まれるため、成果向上の余地はあると考える。 また、実施する土地改良区への負担金になりますが、農業基盤整備に直結した事業であり、上位施策への貢献度は高いと判断する。				
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		182.75% 増加している 182,422.71 円	事業実施率 成果指標を単位として換算 単位：円/% 112,847.94 円	123.23% 増加している 112,847.94 円	88.46% 減少している 99,820.30 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	施設管理者である土地改良区との事業負担協定があるため、コスト改善の余地は難しいと考える。 また、受益者負担適正化の余地につきましても、受益者からの負担を求める内容ではないため、受益者負担適正化の余地はないと考える。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	土地改良区が管理する施設の老朽化が進んでおり、計画的な維持管理の検討が必要となっている。そのため、適正化事業を活用して、施設の修繕の推進を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 土地改良区が管理する施設の整備や、維持管理に伴う費用の一部を市が負担するものであり、事業の必要性を含め、市民・住民へ事業内容の丁寧な説明等、対外的に事業の透明度を高くすべきと考える。	機会(プラス要素) 事業実施に伴い、未整備区間が整備されることにより、農業生産性の向上が見込まれます。また、実施する事業は、農業基盤整備に直結した事業であるため、当市としても有益な内容と考える。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	なし	

事業(一次)評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	当市が費用の一部を負担することにより、事業の実施に伴い、土地改良区が維持管理する施設において、未整備区間が整備され農業生産性の向上や農業基盤の整備が見込まれる。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	当市が費用の一部を負担することにより、事業の実施に伴い、土地改良区が維持管理する施設において、未整備区間が整備され農業生産性の向上や農業基盤の整備が見込まれる。			
	二次評価日	令和3年6月15日			

Table with project details including name (埼玉型ほ場整備事業), period (平成22年度 ~ 未設定), age (10歳), and various evaluation criteria like budget, execution method, and target audience.

Table showing financial breakdown by category (A: Total Costs, B: Specific Sources, C: Subsidy) with columns for fiscal years (Heisei 30, Reiwa 1, Reiwa 2, Reiwa 3, Reiwa 4) and values in thousands of yen.

Table for goal setting (目標設定) with columns for indicators (e.g., target areas, number of seminars, number of associations) and their planned values for Reiwa 3 and Reiwa 4.

評価年度の主な取組	【埼玉型ほ場整備事業】
	【農業基盤整備事業(国事業:農業基盤整備促進事業)】～埼玉型ほ場整備事業～ 埼玉型ほ場整備は、対象となる地域農業の活性化や農業経営の安定化を図ることを目的として、土地の所有権の移転を伴う換地を行わず、広さ1反、約10a(10a=1,000平方メートル)を基準区画として、区画水田地帯を対象とした整備事業である。 農業生産性の向上と農地集積に必要な畦畔除去及び均平作業に加え、農業用排水施設の整備、農作業道の整備等を併せた総合的な農業基盤整備である。
	【費用負担について】～埼玉型ほ場整備事業～ 基本的に、農家の皆様からの事業費負担は無し。 (ただし、道路や水路の整備のため、用地を無償で市に寄付していただくことがある。また、納税猶予地は、寄付採納面積分の納税負担がある。) 対象地域の推進組織の運営費は、事業費に含まれない。国で定めている基準や事業制度に適合しない整備について、事業費に含まれない。 そのため、地域からの要望すべてに関して、整備が行えない場合がある。
	【吉川市の現状について】～埼玉型ほ場整備事業～ コロナ禍にあって、対象地域の住民の集まりの開催が難しい状況だったため、説明会も開催することができなかった。

区分		評価結果		判断理由(特記事項)			
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	国、県、市、地域が適切な役割分担を行い、営農ビジョンに基づき事業を実施しており、対象・手段、意図、役割分担は全て妥当と判断する。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① 説明会の回数 (増加目標指標)	0% ★ 達成度がかなり低い	66.67% ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	50.00% ★★★★ 達成度がやや低い	① 協議会 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	ほ場整備と合わせた農業基盤施設の整備を図ることから、成果向上の余地及び貢献度は高いと判断する。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率	
		評価不可	説明会の回数 活動指標を単位として換算 単位: 円/回	評価不可	評価不可 232,050.00 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	ほ場整備と合わせた農業基盤施設の整備を図ることから、単独で事業を実施するよりもコスト改善の余地及び受益者負担適正化の余地は高いと判断する。				
	受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	農地の集約化を進める必要があることから、農地中間管理事業を引き続き促進するとともに、新たな候補地の選定、及び事業の推進に努める。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) ・基準区画である10アールあたりの事業費に上限(約80万円/10アール)があるため、地域からの要望すべてに対して、整備が行えない場合がある。	機会(プラス要素) ・対象地区のほ場を大区画に整備することにより、耕作しやすい土地となる。 ・農作業の効率向上に伴い、労働時間の縮減が図られ、農地規模の拡大や新規作物の導入も可能となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	なし	

事業(一次)評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	農地の集約化を進める必要があることから、農地中間管理事業を引き続き促進するとともに、新たな候補地の選定、および、事業の推進に努める。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明	農地の集約化を進める必要があることから、農地中間管理事業を引き続き促進するとともに、新たな候補地の選定、および、事業の推進に努める。			
	二次評価日	令和3年6月15日			

基 本 本 事 項	事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農業土木係		
	事業期間	平成23年度 ~ 未設定	事業年齢	9歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	土地改良施設維持管理適正化事業実施要綱・要領		
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第5節 魅力ある農業の振興			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(3)生産基盤の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	農林水産業費	農業費
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	農地費	用排水路維持管理事業	
	目的	対象(誰を、何を)	農業用水路			手 段 (どのような事業を行うのか)	老朽化した農業用水路の事業による補修	
	対象年齢	-	-	全年齢				
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	低下している農業用水路の機能回復							
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 用排水路維持管理事業			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	01420301	用水路補修事業	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 601206							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	7,411	4,593	4,777	4,731	138	8,515	3,989
	② 人件費	388	774	1,027	909	135	909	909
	正職員投入人員	0.05人	0.10人	0.13人	0.12人	0.02人	0.12人	0.12人
	正職員人件費	388	774	1,027	909	135	909	909
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	7,799	5,367	5,804	5,640	273	9,423	4,898	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	5,118	2,772	2,700	2,457	△ 315	5,400	2,700	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	2,681	2,595	3,104	3,183	588	4,023	2,198
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 水路延長	m	469,418	469,418	469,418	469,418	469,418
	② 市内の総水路延長		469,418	469,418	469,418		
活 動 指 標	① 整備実施延長	m	104	54	50	100	100
	② 適正化整備実施延長		92	65	38		
	③						
成 果 指 標	① 整備実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	② 整備実施延長/整備計画延長		88.46	120.37	76.00		



評価年度の主な取組	土地改良施設維持管理適正化事業		
	1 工事費 3,245,000円		
	工事名	工事箇所	請負額(円)
	深井新田・上笹塚用水路補修工事(適正化第44期生)	大字深井新田	3,245,000
	2 負担金 1,485,750円		
	適正化	工事箇所	負担金(円)
40期生	深井新田・関新田、深井新田・上笹塚	360,000	
41期生	深井新田・関新田、加藤	396,000	
42期生	深井新田・関新田、深井新田・上笹塚	360,000	
44期生	深井新田・上笹塚	369,750	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	適正化事業により費用負担の軽減と平準化を図り、妥当と判断する。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
事業性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	76.00% ★★★★ 達成度がやや低い	① 整備実施延長 (増加目標指標)	88.46% ★★★★ 概ね達成された	120.37% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	76.00% ★★★★ 達成度がやや低い	① 整備実施率 (増加目標指標)	88.46% ★★★★ 概ね達成された	120.37% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	用水路の受益地における農業の生産性と環境保全を図ることから、成果向上の余地、貢献度は高いと判断する。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
事業性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		166.44% 増加している 74,205.66円	整備実施率 成果指標を単位として換算 単位:円/%	105.07% 若干増加している 88,166.40円	50.57% 減少している 44,583.37円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	設計基準書に基づき事業費を算出しているため、コスト改善の余地はない。また受益者負担が伴わない事業であるため適正化の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	補助事業の活用により、水路補修の推進を図る。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	市内全域にある農業用水路を日常的に点検等を行うことは困難であるため、地先の住民との協力や情報提供が重要となる。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	今後も、現地調査を行い、危険性や緊急性、そして利用状況を踏まえ、事業の進捗を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明	今後も、現地調査を行い、危険性や緊急性、そして利用状況を踏まえ、事業の進捗を図る。			
	二次評価日	令和3年6月17日			

基 本 本 事 項	事務事業名	農業集落排水施設維持管理事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農業土木係				
	事業期間	平成17年度 ~ 未設定	事業年齢	15歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市農業排水処理施設条例				
	基との 計画 関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第3節 美しい水環境の創出			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策小項目	(3)汚水処理施設管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	農業集落排水事業特別会計		
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	総務費	総務管理費	
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細目	施設管理費	農業集落排水施設維持管理事業		
		目的	対象 (誰を、何を)	八子新田、鍋小路地区農業集落排水施設			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	農業集落排水処理施設の通年の保守管理及び修繕工事の 実施による適切な維持管理		
		対象年齢	-	-	全年齢					
	意図 (対象にどの ような状態に なしてほしい のか)	農業集落排水施設を適切に維持管理することによる当地域 の美しい水環境の保全								
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 公共下水道施設維持管理事務(河川下水道課)			業務プロセス (No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 601207								

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	8,980	9,382	9,306	8,987	△ 394	10,403	10,403
	② 人件費	466	155	158	151	△ 3	151	151
	正職員投入人員	0.06人	0.02人	0.02人	0.02人	0	0.02人	0.02人
	正職員人件費	466	155	158	151	△ 3	151	151
	会計年度任用職員人件費					0		
	③ 間接経費(加算)					0		
	④ コスト対象外(除外)					0		
	⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	9,446	9,536	9,464	9,139	△ 398	10,554	10,554
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
	⑨ その他					0		
	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	5,627	5,568	5,579	5,646	78	5,555	5,555
	受益者負担率(⑩÷⑤)	59.57%	58.39%	58.95%	61.78%		52.63%	52.63%
	C 吉川市年間負担経費(A-B)	3,819	3,968	3,885	3,493	△ 476	4,999	4,999
	D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
標 設	① 排水処理能力	m ³ /日	184	184	184	184	184
	1日当たりの排水処理能力数量		184	184	184		
定 動 指 標	① 維持管理委託数	件	2	2	2	2	2
	施設維持管理の委託件数		2	2	2		
	② 排水処理量	m ³ /日	101	101	101	101	101
	施設で処理した1日当たりの排水量		108	103	106		
実 績 指 標	① 稼働率	%	54.90	54.90	54.90	54.90	54.90
	施設で処理した排水量/排水処理能力		58.69	55.97	57.60		

評価年度の主な取組	1 需用費	1,611,327円	4 処理計画戸数及び計画人口	処理計画戸数	158戸		
	光熱水費	電気使用料 1,598,787円 水道使用料 12,540円	処理計画人口	680人			
	2 役務費	176,012円	5 事業計画区域内戸数・人口(令和3年3月31日現在)				
	通信運搬費	176,012円					
	3 委託料	7,090,000円					
	施設管理業務委託料	7,040,000円					
	清掃委託料	50,000円					
			八子新田	鍋小路	八五町会	計	
			戸数(戸)	81	36	30	147
			人口(人)	254	124	94	472

区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	汚水処理という地区内受益者への恒常的なサービス供給を実現するため、処理施設の維持管理を継続、推進し、水環境の保全を図るとする事業対象・意図は妥当であると判断する。 八鍋クリーンセンターの維持管理を地元管理組合と共同で行うなど、地域と一体となった維持管理に努めており、役割分担は全て妥当と判断する。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度
		活動指標	104.95% ★★★★★ 達成された	② 排水処理量 (増加目標指標)	106.93% ★★★★★ 達成された	101.98% ★★★★★ 達成された
	成果指標	104.92% ★★★★★ 達成された	① 稼働率 (増加目標指標)	106.90% ★★★★★ 達成された	101.95% ★★★★★ 達成された	
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	住宅からの排水を汚水処理施設で処理することで、地域の水質安全や生活環境を保持することができ、成果向上及び上位施策への貢献度は高いと判断する。			
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	▲活動 ●成果
		93.12% 若干減少している 86,213.70円	排水処理量 活動指標を単位として換算 単位: 円/㎡/日 87,462.72円	96.40% 若干減少している	105.86% 若干増加している 92,585.13円	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	施設の維持管理は事業上必要最低限のものであり、コスト改善の余地はない。また、当初設定した負担割合が現状において妥当であると考え、受益者負担の適正化を求める余地はない。			
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
改革改善		これまでの改革・改善内容	地元で運営する管理組合に汚水処理施設の清掃活動を委託し、当事業に対する啓発と協力を得られるようにした。また、施設管理業務委託を3年間の債務負担とし、委託料の低減を図っている。			
		事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)		
		行財政改革大綱との関連(点検・確認)	農集排処理施設の適切な維持管理により、水環境の保全を図ることで、区域内の農業振興に寄与する。			

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	引き続き、地元管理組合と協力しながら処理施設の維持管理を行う。			
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
二次評価日	令和3年6月17日				

基 本 本 事 項	事務事業名	農業集落排水施設整備事業			所管部署名	産業振興部 農政課 農業土木係			
	事業期間	平成17年度 ~ 未設定	事業年齢	15歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市農業集落排水処理施設条例			
	基との関係	まちづくり目標	第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	関係	施策	第3節 美しい水環境の創出			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(3)汚水処理施設管理の充実			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	農業集落排水事業特別会計	
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款	項	事業費 事業費
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	細目	農業集落排水事業費 農業集落排水施設整備事業	
		目的	対象(誰を、何を)	八子新田、鍋小路地区の新築住宅			執行方法	一部委託 工事請負施工	
		対象年齢	00	99	全年齢	手段(どのような事業を行うのか)	既設管路、宅内までの取出し管及び最終樹等の設置工事		
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	し尿や生活排水などの汚水を処理施設に誘導することによる地域の快適な生活環境の保持							
	類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 排水工事事務(河川下水道課)			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	01420602	農業集落排水事業施設設置事業	
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 601208							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	238	88	974	0	△ 88	975	975
	② 人件費	78	77	79	76	△ 2	76	76
	正職員投入人員	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0	0.01人	0.01人
	正職員人件費	78	77	79	76	△ 2	76	76
	会計年度任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
③ 間接経費(加算)	0	0	0	0	0	0	0	0
④ コスト対象外(除外)	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	315	165	1,053	76	△ 90	1,051	1,051	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	国補助率							
	⑦ 県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県補助率							
	⑧ 市債	0	0	0	0	0	0	0
⑨ その他	0	0	0	0	0	0	0	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	0	0	0	0	0	0	0	
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	315	165	1,053	76	△ 90	1,051	1,051
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 新たな住居数	軒	2	2	2	2	2
	② 処理区域内に新たに設置された住居数		0	0	0		
活 動 指 標	① 管路整備件数	件	2	2	2	2	2
	② 管路整備件数		0	0	0		
	③						
成 果 指 標	① 管路整備率	%	100	100	100	100	100
	② 管路整備件数 ÷ 新たな住居数		0	0	0		
	③						

評価年度の主な取組	農業集落排水事業 工事請負費 0円 ※令和2年度は工事の発生なし

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市で整備推進をしてきた事業であり、農業集落排水区域の新たな住居に対する管路敷設は妥当であると判断する。		
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
役割分担(行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0.00% ★ 達成度がかなり低い	① 管路整備件数 (増加目標指標)	0.00% ★ 達成度がかなり低い	0.00% ★ 達成度がかなり低い	
	成果指標	0.00% ★ 達成度がかなり低い	① 管路整備率 (増加目標指標)	0.00% ★ 達成度がかなり低い	0.00% ★ 達成度がかなり低い		
	成果向上の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	管路を敷設することで施設利用者は増加し、地域の水質保全や生活環境の保持が促進されることから、成果向上及び上位施策への貢献度は高いと判断する。			
	上位施策への貢献度		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
価効率性	単位当たりコスト変動率		令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率
			評価不可	管路整備件数 活動指標を単位として換算 単位:円/件	評価不可	評価不可	
	コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	当初設定した負担割合が現状において妥当であると考え、受益者負担の適正化を求める余地はない。			
	受益者負担適正化の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし				

改革改善	これまでの改革・改善内容					
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>処理区域内への新規接続者の流入が減少し、新設工事の発生が無い状況が続いている。</td> <td>管路整備工事が完了し、今後は他事業における施設の維持管理に集中的に取り組んでいく。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	処理区域内への新規接続者の流入が減少し、新設工事の発生が無い状況が続いている。	管路整備工事が完了し、今後は他事業における施設の維持管理に集中的に取り組んでいく。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
処理区域内への新規接続者の流入が減少し、新設工事の発生が無い状況が続いている。	管路整備工事が完了し、今後は他事業における施設の維持管理に集中的に取り組んでいく。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	農集排の管路敷設を行うことで水質・環境保全を図る。					

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	新規の開発行為があった場合に対応を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月17日			

Table with project details including name (農業集落排水事業特別会計運営事業), period (平成17年度 ~ 未設定), and various evaluation criteria like budget, execution method, and target audience.

Table showing financial breakdown by category (A: Total Costs, B: Specific Resources, C: Total Costs, D: Subsidies) with columns for fiscal years (Heisei 30, Reiwa 1, Reiwa 2, Reiwa 3, Reiwa 4) and values in thousands of yen.

Table of performance indicators (目標設定実績) with columns for indicator name, unit, and performance values for fiscal years Reiwa 1, Reiwa 2, Reiwa 3, and Reiwa 4.

評価年度の主な取組	1 施設利用状況 (令和3年3月末)				3 農業集落排水使用料の収納状況											
	利用対象件数(件) 147		施設未利用件数(件) 13		現年度		調定額		収入済額		不能欠損額		未収入額		徴収率	
	施設利用件数(件) 135		うち施設休止件数(件) 1		滞納繰越分		161,672円		125,784円		0		35,888円		77.8%	
	利用率(%) 91.8%		うち施設未接続件数(件) 12		計		5,838,552円		5,646,024円		0		192,528円		96.7%	
	2 農業集落受益者分担金の収納状況															
			調定額		収入済額		不能欠損額		収入未済額		徴収率					
	現年度		216,000円		72,000円		0		144,000円		33.3%					
	過年度分		196,800円		136,800円		0		60,000円		69.5%					
	計		412,800円		208,800円		0		204,000円		50.6%					

事業	区分		評価結果		判断理由(特記事項)						
	妥当性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	事業に必要な財源確保のため、事業区域内の利用者から施設の使用料及び分担金を徴収する本事業の手段・意図は妥当であると判断する。					
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討							
役割分担(行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	事業の使用料・分担金の徴収業務であることから、市で行う必要があり、役割分担は妥当であると判断する。						
業効性	目標達成度	種別	令和2年度		評価指標(指標性質)		平成30年度	令和元年度			
		活動指標	100.00%	★★★★★	① 処理施設利用件数	101.50%	100.00%				
	成果指標	96.70%	★★★★	(増加目標指標)	★★★★★	★★★★★					
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	② 徴収率	98.75%	97.17%					
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	(増加目標指標)	★★★★	★★★★					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度		単位当たりコスト換算指標		平成30年度	令和元年度				
		127.43%	増加している	処理施設利用件数	61.33%	87.49%					
	22.005.94 円	活動指標を単位として換算 単位: 円/件	減少している	減少している							
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	事業費は、事業上必要最低限のものであり、コスト改善の余地はない。また、当初設定した負担割合が現状において妥当であると考えられるため、受益者負担の適正化を求める余地はない。								
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし									

改革改善	これまでの改革・改善内容	令和2年度に経営改善を目的とした中長期的な投資財政計画となる「吉川市農業集落排水事業経営戦略」を策定した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	継続的な料金徴収が、事業の円滑かつ適切な運営を実現し、事業区域内の水質・環境保全に寄与する。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	引き続き料金徴収業務を実施し、支払いの遅れる者には未納通知や個別訪問を実施し、適切に対処する。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明				
	二次評価日	令和3年6月17日			

基 本 本 事 項	事務事業名		水酸化促進事業		所管部署名	産業振興部 農政課 農業土木係			
	事業期間		平成17年度 ~ 未設定	事業年齢	15歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重
	関連付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		根拠法令等	吉川市水洗便所改造資金融資規則			
	まちづくり目標		第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施計画の位置付け		第3節 美しい水環境の創出		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	策小項目		(6)水環境保全の推進		直接事業費	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		予 算 科 目	会計区分			
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			款	項		
	個別計画の位置付け		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		目	細目			
	目的		対象 (誰を、何を)		執行方法		一部委託 金融機関への委託		
意図 (対象にどのような状態になってほしいのか)		農業集落排水区域内の未接続者 対象年齢 - - 農業集落排水へ接続することによる生活環境への適正化		手 段 (どのような事業を行うのか)		水洗化に関する工事費用の資金融資啓発や市民への接続依頼			
類似事業		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 水洗化促進事業		業務プロセス (No.・名称)		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
前年度事務事業		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 601210							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	0	0	0	0	0	0	0	
	② 人件費	正職員投入人員					0		
		正職員人件費					0		
		会計年度任用職員人件費					0		
		③ 間 接 経 費 (加算)				0	0	0	0
④ コスト対象外(除外)				0	0	0	0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	0	0	0	0	0	0	0	0	
資 源	⑥ 国庫支出金	国補助率				0	0	0	0
		⑦ 県支出金				0	0	0	0
	県補助率								
	⑧ 市 債				0	0	0	0	0
	⑨ そ の 他				0	0	0	0	0
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)				0	0	0	0	0	
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	0	0	0	0	0	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	未接続の対象件数		数	14	12	12	12	12
		処理施設利用対象件数 - 処理施設利用件数			12	12	12		
活 動 指 標	①	融資利用者数		件	1	1	1	1	1
		融資利用者数			0	0	0		
	②	水洗化促進訪問件数		件	10	10	5	5	5
		水洗化促進訪問件数			0	0	0		
成 果 指 標	①	新規接続数		件	1	1	1	1	1
		新規接続数			2	0	0		

評価年度の主な取組	<p>【水洗化促進事業】 未接続者への個別訪問を実施し、接続への理解を求めるとともに、併せて、融資制度の説明を行い、水洗化の促進を図るものとする。</p>
	<p>【農業集落排水事業】 当市八子新田・鍋小路地区農業集落排水事業は、公共下水道計画区域以外の農村集落を対象とした下水道事業で、生活雑排水・し尿などの汚水を処理する施設を整備し、農業用排水路の水質保全、農業用排水施設の機能維持、農村の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与する事を目的とした事業である。 吉川市では、八子新田・鍋小路地区内に農業集落排水処理施設（八鍋クリーンセンター）を建設し、地元の八鍋農集排管理組合との協同により維持管理を行っている。</p>

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	施設利用者の割合が増加することで、地域の水質保全や生活環境を保持することができ、成果向上及び上位施策への貢献度は高いと判断する。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	条例に基づき処理区域内の建物所有者へ接続を促すとともに、資金の融資を行うことにより、円滑な水洗化を図る事業であり、市で行う必要があることから、役割分担等は妥当と判断する。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	② 水洗化促進訪問件数 (増加目標指標)	0% ★ 達成度がかなり低い	0% ★ 達成度がかなり低い	
		成果指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① 新規接続数 (増加目標指標)	200.00% ★★★★★ 達成された	0% ★ 達成度がかなり低い	
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	施設利用者の割合が増加することで、地域の水質保全や生活環境を保持することができ、成果向上及び上位施策への貢献度は高いと判断する。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	変動率	
		評価不可	水洗化促進訪問件数	評価不可	評価不可		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	活動指標を単位として換算 単位：円/件 事業費は事業上必要最低限のものであるが、今後、コスト改善の余地について、検討を図るものとする。 また、当初設定した負担割合が現状において妥当であると考えられますが、再度、受益者負担の適正化を求める余地について、検討を図るものとする。				
	受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	未接続者への個別訪問を実施し、接続への理解を求めるとともに、併せて、融資制度の説明を行い、水洗化の促進を図るものとする。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 利用者において、接続に伴い、費用負担が生じる。	機会(プラス要素) 施設利用者の割合が増加することで、地域の水質保全や生活環境を保持することができるかと判断する。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	なし	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	未接続者への個別訪問を実施し、接続への理解を求めるとともに、併せて、融資制度の説明を行い、水洗化の促進を図るものとする。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	未接続者への個別訪問を実施し、接続への理解を求めるとともに、併せて、融資制度の説明を行い、水洗化の促進を図るものとする。			
	二次評価日	令和3年6月15日			

基 本 事 項	事務事業名			長期償還事業	所管部署名	産業振興部 農政課 農業土木係						
	事業期間			平成17年度 ~ 未設定	事業年齢	15歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	小林 千重		
	関連付け			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	根拠法令等			地方自治法、地方財政法				
	まちづくり目標				事業区分			<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	施策				事務事業の性質			<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度				
	施策小項目				直接事業費			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	実施計画の位置付け			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	予 算 科 目	会計区分		農業集落排水事業特別会計				
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		款	項	公債費		公債費		
	個別計画の位置付け			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	目	細目	利子		長期償還事業(利子)			
	目的			償還金の対象となる起債		手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	市が借り入れている起債の返済					
対象(誰を、何を)			対象年齢		-							-
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)			償還金の返済による農業集落排水事業の経営安定									
類似事業			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	長期償還事業(利子)		業務プロセス(No.・名称)		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
前年度事務事業			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	601211								

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	12,916	12,916	12,917	12,917	1	13,958	13,958
	② 人件費			79	76	76	76	76
	正職員投入人員			0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
	正職員人件費			79	76	76	76	76
	会計年度任用職員人件費					0		
	③ 間接経費(加算)			0	0	0	0	0
	④ コスト対象外(除外)			0	0	0	0	0
	⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	12,916	12,916	12,996	12,993	76	14,033	14,033
資 源	⑥ 国庫支出金			0	0	0	0	0
	国補助率							
	⑦ 県支出金			0	0	0	0	0
	県補助率							
	⑧ 市債			0	0	0	0	0
特 定 財 源	⑨ その他			0	0	0	0	0
	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	2,348	624	209	209	△ 415	0	0
	受益者負担率(⑩÷⑤)	18.18%	4.83%	1.61%	1.61%			
C	吉川市年間負担経費(A-B)	10,568	12,292	12,787	12,784	491	14,033	14,033
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 起債残高	千円	174,243	164,154	153,873	142,355	130,636
	年度末残高		174,243	164,154	153,873		
活 動 指 標	① 償還額	千円	12,916	12,916	12,916	13,957	13,957
	② 償還額		12,916	12,916	12,916		
	③						
成 果 指 標	① 歳出に占める償還金比率	%	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
	償還額/歳出総額		45.12	43.85	43.17		
	②						

評価年度の主な取組	【長期償還事業】
	当該事業費として、財務省(政府資金の財政融資資金)及び公営企業金融公庫から地方債を事業費として借入をしている。 借入している起債(地方債)につきましては、平成10年度(1998年度)から償還を行っており、今後、令和27年度(2075年度)の償還完了を予定している。
	農業集落排水事業債 12,916,276円
	財政融資資金 償還金元金 10,280,933円 財政融資資金 償還金利子 2,635,343円

事業性	区分		評価結果		判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	地方財政法に基づく地方債の償還事業であり、対象・手段や意図等は全て妥当になる。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	地方財政法に基づく地方債の償還事業であり、役割分担(行政関与)等は全て妥当になる。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度		
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 償還額 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された		
	成果指標	107.93% ★★★★★ 達成された	① 歳出に占める償還金比率 (増加目標指標)	112.80% ★★★★★ 達成された	109.63% ★★★★★ 達成された			
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	今後、当該事業におきましては、しばらくの間、起債(地方債)の予定が無いため、成果向上は見込めませんが、財政負担の平準化により、当市総合振興計画の着実な推進につながっていると判断する。				
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度			
		100.59% ほぼ変動していない 1,005.94円	償還額 活動指標を単位として換算 単位：円/千円	100.00% ほぼ変動していない 1,000.02円	100.00% ほぼ変動していない 1,000.02円			
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	現在、利用している起債(地方債)に比べ、より低利な起債(地方債)を活用することで、コスト改善の可能性はある。				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	償還計画に基づき、適切に実施していく。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 融資に伴う審査が厳しいことが挙げられる。	機会(プラス要素) 大きな金額を償還計画に基づき、少しずつ返済するため、当市としては、毎月の返済額が小さく、資金面で安定することが挙げられる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	なし	

事業(一次)評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	償還計画に基づき、適切に実施していく。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	森 保美	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明	償還計画に基づき、適切に実施していく。 今後、検討する事項として、現在、利用している起債(地方債)に比べ、より低利な起債(地方債)を活用することで、コスト改善の可能性はある。			
	二次評価日	令和3年6月15日			